

日本化学会 第93春季年会(2013)

アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)シンポジウム

未利用熱エネルギー技術

未利用熱エネルギー技術:社会全体のエネルギー効率の向上が強く求められているが、未利用熱エネルギーの有効利用技術の確立がその実現に向けた大きな柱となる。中低温、特に100℃以下の熱の有効利用技術の確立が社会全体のエネルギー効率の向上に優れて有用である。新規材料の開拓による技術の高性能化が必須であり、モジュール化・システム開発と共に重要な開発要素である。蓄熱、断熱、熱電変換の3つの技術要素を核とした、この分野の今後の研究動向・展開について本シンポジウムで議論する。

日時 2013年3月22日(金) 09:20~16:50

場所 立命館大学びわこ・くさつキャンパス H4会場(ラルカディアR201)

プログラム

09:20-09:40 オーガナイザー挨拶 浅井美博(産業技術総合研究所)

座長:井上健二(カネカ)

09:40-10:30 基調講演 未利用熱エネルギー技術 概論 八瀬 清志(産業技術総合研究所)

10:30-11:10 招待講演 高性能真空断熱材とその応用 上門 一登(パナソニックアプライアンス社)

11:10-11:20 インキュベーションタイム

11:20-11:50 依頼講演 潜熱蓄熱・化学蓄熱プロセスの概念設計と研究課題 阪井 敦((株)KRI)

11:50-12:00 インキュベーションタイム

座長:世古信三(住友化学)

13:10-13:50 招待講演 革新的高分子系断熱材—現状とこれから 大島 正裕(京都大学)

13:50-14:00 インキュベーションタイム

14:00-14:40 招待講演 低温排熱回生技術の動向 深井 潤(九州大学)

14:40-14:50 インキュベーションタイム

14:50-15:20 依頼講演 In-plane型フレキシブル熱電変換素子の開発
~エネルギーハーベスティングへの応用を目指して~ 武田 雅敏(長岡技術科学大学)

15:20-15:30 インキュベーションタイム

座長:浅井美博(産業技術総合研究所)

15:30-16:00 依頼講演 未利用熱の活用を目指したチューブ型熱電発電デバイスの開発
菅野 勉(パナソニック先端技研)

16:00-16:10 インキュベーションタイム

16:10-16:40 依頼講演 印刷法により作成したフィルム状熱電変換素子 末森浩二(産業技術総合研究所)

16:40-16:50 インキュベーションタイム

ATP
交流会

ATP 交流会では、企業研究者との出会いと交流の場を年会参加者の皆様に提供させていただきます。飲み物、軽食をご用意致します。事前申込は不要です。直接会場までお越し下さい。

日時:3月22日(金) 17:30-19:00 会場:ユニオンスクエア 2F 参加費:無料